

## 記事

# TAT パーソナリティ研究会の歩み

TAT パーソナリティ研究会事務局

中京大学臨床心理相談室 吉田 恵  
東海学園大学 石井 明子

心理臨床の現場に出て、いっそう学びつづける必要性を実感した卒業生らが、鈴木睦夫先生にお願いして TAT の勉強をする機会を作っていたいただいたのが、本研究会の始まりであった。

研究会では当初から、ブラインドアナリシスを基本としていた。これは、臨床の力を養うためには、テストそのものをしっかりとみていくのが良いとの先生のお考えによるものであった。研究会には、大学の卒業生以外にも、家庭裁判所調査官や法務省心理職、県内外の研究職、臨床家の方々なども多数参加され、教室が一杯になることも珍しくなかった。先生は現役の大学院生、修了生、外部の先生も、分け隔てなく自由に発言できることが大切とのお考えであり、そういった姿勢そのものが私たちの手本であった。そして、これまで研究会に参加してきて感じるのは、テストを読みこむ力が、私たちの臨床場面での“基礎体力”となってきたということである。

先生のスイス留学中にはファックスをやり取りして事例検討会を実施した。これも研究会を地道に続けていくことが大切であるという教えの一つであったと思う。先生もご自身で、テストの実施やデータの分類、整理などの仕事を最期までこつこつと続けておられた。研究も臨床も、休まず継続していくことが力になることを示されたように感じる。

有志で研究会は今も2か月に1回のペースで継続している。

### TAT パーソナリティ研究会年表

1992年 2月	TAT パーソナリティ研究会 発足
1997年 9月	鈴木先生が「TATの世界 物語分析の実際」上梓
2000年 4月～2001年 4月	鈴木先生スイス留学
2000年 9月	鈴木先生が「TAT パーソナリティ 26事例の分析と解釈の例示」上梓
2002年 6月	鈴木先生が「TAT 絵解き試しの人間関係論」上梓
2008年 10月	特別企画「鈴木先生による TAT 講話」(第92回)
2010年 8月	第100回記念大会開催 ゲスト：高橋依子先生
2010年 11月	鈴木先生ご逝去
2012年 10月	日本ロールシャッフ学会第16回大会 鈴木睦夫先生追悼コーナーにて追悼文掲載
2012年 11月	中京大学心理学研究科・心理学部紀要第12巻 鈴木睦夫先生追悼号 発刊
2013年 2月	20周年記念大会開催 (第115回) ゲスト：八尋華那雄先生
2013年 8月	20周年特別企画開催 (第118回)
2015年 8月	特別企画「TATの基本」「物語法の起源と多様性」(第130回)
2018年 11月	第150回大会開催



100 回記念大会時の鈴木先生



TAT パーソナリティ研究会第150回大会